

# 知的障害生徒の通学支援 海外先進事例

ドイツ連邦共和国ノルトホルン市の取り組み



## 路線バス通学指導“MogLi”

ドイツ連邦共和国ノルトホルン市では、国や自治体、大学がともに学校の障害児童生徒の通学練習、交通教育を支援するプログラムを作り、バス事業者と連携して路線バスによる通学を実践している。



ノルトホルン市内を走る路線バス



黒板、ミニチュア模型を使って標識の見方や交通ルールを学ぶ



実際に近い環境を作り、自転車の乗り方などを学ぶ



元運転手などバス事業者が指導者となり、顔写真付きのバスの提示の仕方や、非常口についての説明を行う



運転席から見たときの死角の範囲がわかるようにシートを広げて確認する。運転席からの見え方も路線バスを使って体験する

### Nordhorn ◎ノルトホルン市



ドイツ北西部のニーダーザクセン州グラーフシャフト・ベントハイム郡の中心都市で、人口は約53,000人。市の西側はオランダに接しており、ドイツ国内からオランダのアムステルダムを結ぶ交通路に位置している。教育環境は、15の小学校と14の上級学校があり、障害に応じた支援学校が3校ある。



知的障害児童の通学における、通学時間の長大化や、自力通学の指導の難しさなどの問題について新たな取り組みにより、その解決を目指した海外の先進的な事例を紹介します。

## ブラジル連邦共和国 クリチバ市の取り組み 送迎バスシステム“SITES”



ブラジル連邦共和国クリチバ市では、乗継ターミナルで学校別のバスに乗り換えをする独特のシステムを導入している。学校別のバスが市内を巡回するよりも、短い所要時間で通学することを可能にした。



クリチバの都心にあるSITESバス乗継ターミナル



バス車内の様子



運転手と付添人が毎日同じ路線を担当。障害児生徒は、顔見知りとなっている運転手や付添人から、安心してサポートを受けられる



乗継ターミナルは、学校や家庭以外の交流の場となっており、障害児生徒たちは実に楽しそうに乗り継ぎを行っている

### Curitiba ○クリチバ市



ブラジル連邦共和国パラナ州の州都で人口約170万人、ユニークな都市政策と環境政策で世界的に知られている。人口の急増に伴う渋滞を解消し、機能的に移動する手段として、バス高速輸送システム(BRT)を導入。バス停の間隔を長くする、乗降時段差をなくしたバス停を設置するなどさまざまな工夫を凝らしている。

